



建設業のイメージアップ活動 栃木県内に展開!!

【本部】



▲広報ビデオ「大型ビジョン」での放映

昨年、建設業界への入職促進につなげるため、映像による広報ビデオを制作しYouTubeで公開しているが視聴回数が24万回を超え、一方で「建設業進化論」をスローガンとして掲げた新聞特集記事による広報活動を行ったところ、本会ホームページへのアクセス数が飛躍的に増加するなど、広報活動による効果を感じられたところである。

さらなる建設業の理解促進のため、11月18日の「土木の日」に合わせ一般県民の目に触れるよう、広報ビデオにおいては、街頭大型ビジョンによる動画再生や地域ケーブルテレビ局でのCM放映、FMラジオCMでは、一度聞いたら思わず口ずさんでしまうサビ部分を音声放送した。

「建設業進化論」のポスターは、栃木県内の公共交通機関「JR東日本（宇都宮・日光・両毛線）、東武鉄道、真岡鐵道」の駅構内に一斉に展示し、建設業の魅力発信を積極的に展開したところである。

今後も、建設産業の役割を広報するため建設業のイメージアップとさらなる工夫を凝らして展開していく予定である。



▲栃木県内の駅構内に「建設業進化論」のポスターを展示

会員企業諸制度説明会の開催

【本部】



会員企業を取り巻く諸制度について重要な変更があり、正しい認識がないと経営に不利が生じる恐れがあるため、次のとおり会員企業諸制度説明会を県内3か所で開催しました。いずれも8月に開催予定でしたが、コロナウイルス緊急事態宣言で延期しました。

各会員企業は、3回開催する説明会のどの会場に参加しても良いこととし、多くの会員企業の参加がありました。

- 令和3年10月25日(月) 午後2時から4時
〈小山市立文化センター〉
- 令和3年11月4日(木) 午後2時から4時
〈栃木県総合文化センター〉
- 令和3年11月8日(月) 午後2時から4時
〈那須野が原ハーモニーホール〉

【説明事項】

- (1) 建設キャリアアップシステムの登録申請の推進
(一般財団法人 建設業振興基金 建設キャリアアップシステム事業本部)
- (2) 栃木県建設業協会運営の労災上乗せ共済の終了と代替の建設共済制度の紹介
(公益財団法人 建設業福祉共済団 事業推進部)
- (3) 建設業協同組合連合会の工事代金一時立替払制度の廃止と同種他制度の案内
(東日本建設業保証株式会社 栃木支店)
- (4) 建設業退職金共済制度の掛け金の改正および履行証明の発行基準の改定
(独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部)
- (5) 労働基準法の労働時間規制の特例の終了と、労働基準監督署の指導強化
(栃木労働局 労働基準部監督課)
- (6) 団体保険制度の案内
(三井住友海上火災保険株式会社)



未来の土木技術者に最新の技術を

～宇都宮工業高校で体験型出前講座開催～

【宇都宮支部】



▲ICT建機で校章を作成

宇都宮建設業青年の会(入江克拓会長)は栃木県測量設計業協会(堀江育夫会長)と共催で、11月9、10日の両日、栃木県立宇都宮工業高校で体験型出前講座を開催した。本事業は建設業界の現況を正しく理解していただくとともに、近年の建設業の技術革新に触れてもらうことで、より魅力的な業界に成長していることを認識していただき、建設業界が多くの若者の職業選択の一つになることを希望して実施したものである。この体験型出前講座には、就職活動を控えた環境土木科2年生40名が参加した。

講座一日目の9日は宇都宮工業高校において、「建設業の実情について」として講義を行い、生徒たちが職業選択の際に最も興味のある労働時間や休日などについても解説した。



▲新しいLRT車両に興奮

講座二日目の10日は宇都宮市平出町のLRT車両基地に集合し、宇都宮市のLRT企画課ならびにLRT整備課職員によるLRTの車両と基地の概要説明の後、国内最大とされる実物の路面電車に搭乗した。搭乗した生徒たちは皆興奮した様子で熱心に車内の見学を行っていた。見学後学校に戻りICT建機の搭乗体験や現場代理人についての座学、ドローンによる臨場体験を実施した。ICT建機搭乗体験では宇都宮工業高校の校章を模した三角形の盛土を作成し、ドローンによる臨場体験では、生徒が画面上でドローンを操作し、フライトシミュレーションを楽しんだ。

参加した生徒は「こういう機会はなかなかないので、職業選択のいい機会になった。初めてLRTに乗り、これほど進んでいるのかと驚いた。」などと感想を語っており、主催した入江克拓会長は「生徒たちがとても興味深く熱心に参加してくれた。今回の講座で一人でも多くの若者が私たちの建設業界に進んでくれて、共に活躍してくれることを望んでいる。」としていた。(岩原産業(株) 岩原正樹)

水害から自分の身を守るには

～田原西小学校で出前講座～

【宇都宮支部】



▲慎重に水中歩行する児童

宇都宮建設業青年の会(入江克拓会長)は11月2日、宇都宮市立田原西小学校で総合学習支援活動の一環として、5年生の児童38名を対象に「水害から自分の身を守るには」とのテーマで出前講座を行った。出前講座には青年の会会員15名が参加した。

講座の冒頭、一昨年10月の台風19号襲来によるJR宇都宮駅前や県庁前通りの冠水映像を紹介。田川の水が道路や建物にあふれ、消防隊員が市民をゴムボートで救出する光景が映し出された。その後、東京の荒川の堤防決壊想定映像を映し、浸水が始まる前に逃げることの重要性を伝達した。

その後、校庭に設置した水深40cmと20cmの水没ドア開閉体験装置ならびに濁った水の中にコンクリートブロックや木材などを入れた水中歩行体験装置を使って実際に児童に水害の恐ろしさを体験してもらった。水没ドア開閉体験ではドアの外側に40cmの水がたまった水没ドアは児童の力では開閉できず、20cmの水没ドアは何とか開閉できる児童が多かった。水中歩行体験では胴長を履いた児童が濁った水の中を杖を頼りに歩行。地面が全く見えない中で歩くことの怖さを実感してもらった。

▲なかなか開かない水没したドア

体験終了後、社会貢献委員会の亀和田辰紀委員長から「非常時の避難方法を家族で話し合い、避難経路を確認することが重要。住んでいる地域の危険性を事前に調べる。浸水前に学校や近くの高台に避難する。安全に避難する方法を知る。」といった水害から自分の身を守るために必要なポイントを解説して講座を締めくくった。

体験後の児童の感想では、「水害の恐ろしさが分かった。早く逃げるようにします。」「ほんの少しの差でドアが開かなくなることにびっくり。」など体験型の出前講座の有効性が確認された。

なお、同会ではこのほかにも総合学習支援活動として、12月21日に認定こども園さくらが丘にて砂場クリーン大作戦ならびに重機搭乗体験も実施した。

(岩原産業(株) 岩原正樹)



愛ロードとちぎ実施

【鹿沼支部】



10月8日金曜日に愛ロードとちぎを実施しました。鹿沼環状線の平成橋から宇都宮鹿沼線交差点まで2班に分かれて道路清掃作業を行いました。交通量の多い路線なため、事故のないように細心の注意を払いながら作業を行っております。最近ではマスクやタバコの吸い殻など細かいゴミが多いので、一つひとつ丁寧に拾っています。私たちが造った道路を綺麗に保ち、近隣住民の皆様にとって安心・安全な道路を確保することも大切な仕事のひとつだと思っております。

今後も道路の美化活動を積極的に行ってまいります。



(株)半貫建設 半貫昌英

国道119号水無バイパス開通

【日光支部】



▲完成した水無バイパス

国道119号の水無バイパス（延長2.9km）が10月8日午後2時より供用開始された。これに先立ち、国道119号水無バイパス建設協議会は交通安全祈願祭を開催。新型コロナウイルス拡大防止のため、粉川昭一日光市長、青木淳日光土木事務所長、地元自治会のほか工事関係者9人で行った。

また、安全祈願セレモニーでは、協議会を代表して松本昇氏が関係者への感謝と喜びの挨拶後に「ICTなどを活用した施工技術の導入や現場週休2日制による働き方改革に取り組み、今後の400年その先の人々に受け継がれる公共遺産になり、長く愛される道であってほしい」と期待を込めた。

この道路が通過する日光市森友地区から大沢町地区では、現道の幅員が狭く円滑な通行の支障となっていたほか、車の排気ガスや振動が沿線の杉並木に影響を与える恐れがあったため、2013年度からバイパス整備事業を進めてきた。

水無バイパスの整備効果として、「安全・安心で円滑な通行」「地域経済の活性化」「日光街道杉並木の保全」が期待される。近年、日光市でもダウンバーストや竜巻による倒木が起こり、何度か国道119号は通行止めになることがあった。水無バイパスでは、近接して



▲安全祈願を行う粉川市長（中央）ら

いる樹木が少ないのでそういった被害が軽減され「安全・安心で円滑な通行」になっていくであろうことを願う。

(斉藤建設(株) 斉藤一明)



令和3年度 安全標語

【芳賀支部】

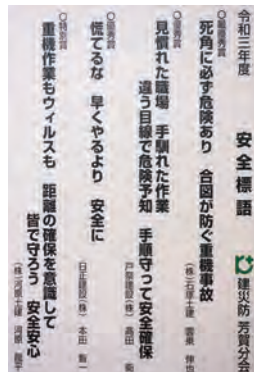


▲授賞式

10月12日、真岡市生涯学習館にて2021年度安全管理セミナーを開催いたしました。会員企業から約120人が参加し、労働災害の防止に向けて安全管理の重要性について理解を深めました。

来賓といたしまして、真岡労働基準監督署の大貫署長から「労働災害防止も働き方改革も建設業の担い手を守り育てる上で重要な取り組みです。今後とも建設業の未来を見据えた取り組みを願います。」とご挨拶をいただきました。続いて、真岡土木事務所の松本所長から「皆様が安全・安心な環境で工事に従事することが建設業の発展の基礎となり、県民の視点からも極めて重要であります。労働災害防止のためには一人ひとり安全を意識して努力を怠らないことが肝要です。」とお話いただきました。

セミナー本編では、大貫署長に「労働災害防止のために」、また建災防栃木県支部の橋爪専務理事に「労働安全衛生と事業主の責務について」をテーマに講演いただきました。



セミナーに先駆け、会員に募集をかけていた「令和3年度安全標語」の最優秀賞、優秀賞、特別賞の表彰を行いました。なお、優秀作品4点は、標語ポスターとして会員企業に配られ、各事業所、現場に掲示されます。

(株)阿久津土建 阿久津亮

総合学習支援活動を実施

【下都賀支部】



▲熱心に取り組む児童たち

下都賀支部建友会は10月から11月にかけて管内6つの小学校において総合学習支援活動を実施した。下野市立薬師寺小学校では6年生児童約70人が参加。感染症防止に配慮しながらバックホウによる砂場の整備体験と見学、ドローンによる記念撮影、座学を通じて身近な建設業への理解を深めた。

開催にあたり海老原忠校長は「目の前で建設機械が動く姿を見ることができるのは貴重な機会。建設業の仕事の楽しさを感じてほしい」と述べた。建友会からは16人が参加。

砂場作業では代表児童が会員とともにバックホウの席に座り、掘削操作を体験した。座学講習では建設業が社会にとって身近なものであることや一つとして同じものがなく、地図や後世に残る仕事であることを紹介。災害時に出勤し、人の命を守ることに直結する仕事であることも説明した。講座後の児童からは「重機体験し建設業に興味を持った、私たちの生活に建設業が深く関わっていることを知った」と感想が寄せられた。



(吉栄工業(株) 吉田 亘)



水防情報伝達訓練実施 (道路河川等管理情報システム使用)

【塩谷支部】



▲塩谷支部対策本部情報確認

8月26日、塩谷建設会館で水防情報伝達訓練を実施しました。

塩谷支部、矢板土木事務所、矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町から約60人が参加し、道路河川等管理情報システムの操作や災害発生時における初動対応の連携を確認しました。

訓練は局地的豪雨で荒川や内川、五行川が氾濫注意水位に達したとの想定で行いました。矢板土木事務所長から斎藤支部長に管内全域の河川の出水状況の報告指示要請があり、支部に対策本部を設置、支部員に担当河川のパトロールの指示を行い、現場パトロールをした支部員が現場状況写真と位置情報を情報システムに順次送信しました。支部の対策本部ではモニターで順次状況を確認し、矢板土木事務所対策本部



▲矢板土木事務所対策本部情報確認

との連携により、異常箇所については応急対応を実施するように指示があり、現場での対応を実施しました。今後も訓練で得た情報伝達のノウハウや現場での工法判断力、対応力を発揮し、地域の守り手として、非常時も地域住民に安心してもらえるように努力していきたいと思います。

(友建工業(株) 小菅秀樹)

道路除雪隊出動式

【那須支部】



11月26日に大田原土木事務所令和3年度道路除雪隊出動式が湯本スノーステーションにて執り行われました。

当日は栃木県議会議員の方々、所轄警察署、那須高原小学校の児童も参加の上、盛大に開催されました。式典の中で大田原土木事務所分田所長様より、長年除雪作業道路維持管理業務を担う技術者に除雪作業等功労者表彰が授与されました。受賞者は長年の苦勞を評価され、除雪の出動を目前に一層身の引き締まる思いで心を新たにされていました。

最後に車両・機材の安全点検を実施し、那須高原小学校の児童たちの声援を受けての出動となり、子供たちの笑顔が印象的な道路除雪隊出動式となりました。



(マルホ建設(株) 星 豪紀)



烏山分会経営者等 安全衛生セミナー

【烏山支部】



▲建災防栃木県支部橋爪専務理事

10月21日、那珂川町小川総合福祉センターにて、建災防栃木県支部烏山分会による経営者等安全衛生セミナーが開催されました。

セミナーでは、①建災防栃木県支部橋爪良行専務理事による「管理監督者としての安全衛生管理について」と、②栃木県県土整備部杉田浩幸検査班長による「工事の安全管理と検査について」の講習が行われました。

第1部では、現場での安全管理や監督者・経営者としての責任について、過去に発生した事故事例を挙げながら、安全管理の本質とは何かについて説明がありました。

第2部では県土整備部発注工事での事故発生状況や分析結果を踏まえ、どう事故を防いでいくか「重点安全対策5項目」や「安全チェックシート」の活用、工事を発注する側としての要望など、安全管理の重要性について講話をいただきました。



▲県土整備部杉田検査班長

安全は全ての人の願いです。本講習を通じて参加各社のより高度な安全管理体制が構築されれば幸いです。

(鈴木建設(株)
鈴木雅仁)

総合学習支援活動 「建設業PR作戦」

【足利支部】



▲総合学習支援活動 集合写真

6月28日、(一社)栃木県建設業協会青年経営者連合会足利支部C'sでは、足利市島田町にある「学校法人御厨学園足利さくら幼稚園(園児44名)」において、支部会員15名が参加し総合学習支援活動「建設業PR作戦」を実施しました。

内容としましては、

- ①「けんせつ紙芝居」の観覧
- ②「重機実演」…園庭でタイヤローラー、バックホウ、ブルドーザーのデモンストレーション走行を行いました。
- ③「重機展示搭乗体験」…支部会員と一緒にそれぞれの重機に順番に搭乗してもらい、操作体験を行いました。
- ④「砂場宝探し」…砂場にカプセルに入れたおもちゃを埋めておき、それを小さなスコップで掘り起こす宝探しを行いました。
- ⑤「測量機器体験」…レベルを3台セットし、園庭の滑り台に目標をセットして園児に覗いてもらい、測量体験を行いました。
- ⑥「ドローン記念撮影」…支部会員が所有する小型ドローンによる上空からの記念撮影を園児や先生、支部会員とともに行いました。



▲紙芝居

今回のイベントは、園児や先生方に大好評であり、来年もぜひ実施してほしいとの声が多くあり、当会としては引き続き建設業のイメージアップのため、活動を継続していきたいと考えております。

最後に、今回の総合学習支援活動に多大なご協力をいただきました、「足利さくら幼稚園」の園長先生をはじめ、先生方や関係者の皆様には心から感謝申し上げます、ありがとうございました。(三興工業(株) 山根良樹)